

世界に一つだけの花

(1年生用)

作詞・作曲・編曲／槇原敬之

花屋 __ 店先 __ 並んだ
いろんな花 __ みていた
ひとそれぞれ好み __ あるけど
どれもみんな __ __ だね
この中 __ 誰 __ 一番だなんて
争う事もしないで
バケツの中誇らしげ __
しゃんと __ __ を張っている

それなのに僕ら人間 __
どうしてこうも比べたがる？
一人一人違うのにその中 __
一番 __ なりたがる？

そうさ 僕らは
世界に __ __ だけの __
一人一人違う種を持つ
その __ を咲かせることだけに
一生懸命になれば __ __

困ったように笑いながら
ずっと迷ってる人がいる
頑張ってる花はどれも
きれいだから仕方ないね
やっと店から出てきた
その人が抱えていた
色とりどりの花束と
うれしそうな横顔

名前も知らなかったけれど
あの日僕に笑顔をくれた
誰も気づかないような場所で
咲いていた花のように

そうさ 僕らも
世界に一つだけの花
一人一人違う種を持つ
その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい

小さい花や大きな花
一つとして同じものはないから
No. 1にならなくてもいい
もともと特別な Only one

店先 (みせさき) : storefront
並んだ (ならんだ) : lined
好み (このみ) : preference
争う (あらそう) : argue
誇らしげ (ほこらしげ) : proudly
しゃんと : be in shape
胸を張っている (むねをはっている)
: hava a pride
違う (ちがう) : differ
種 (たね) : seed
咲かせる (さかせる) : bloom
一生懸命 (いっしょうけんめい)
: as well as one can